

氣比神社社殿隣に建てられた志乃武神社



下田

地域住民の守護神  
志乃武神社を建設

55年ぶりに神体奉納

戦時中、旧海軍航空隊三沢基地内で航空安全の守護神としてまつられていた「志乃武神社」の神体が

二十七日、下田町木ノ下地区の氣比神社境内に新たに

建てられた神社に納められた。七月一、二日には氣比神社例大祭が行われることになっており、多くの人たちが参拝に訪れそうだ。

志乃武神社は国家鎮護、航空安全の守護神として昭和十八年に基地内に建てられたが、敗戦により部隊を解散する際、部隊長がご神体を氣比神社に移した。その後は氣比神社の社殿内にまつられてきたが、同神社の社殿改築を機に三沢基地の航空安全、地域住民の守護神として新たに志乃武神社を建設することにした。

氏子、崇敬者の寄付によって五月初旬に神社の工事に取り掛かり今月十七日に建物が完成。周辺の整地もして二十六日に工事を終えた。二十七日にはご神体を新しい神社に納めた。

氣比神社は馬・家畜をまつる神社として知られ、例大祭は家畜の無病息災を願う畜産農家や近隣の家族連れでにぎわう。今年の例大祭は絵馬販売やチビッコ座り相撲大会（一日午前十時・木ノ下ふれあい館）、芸能大会（一日午後一時・同）が行われる。

東奥日報  
平成12年6月30日（金）